

本書の構成

本機をお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。

準備／基礎知識

1

本機の設定をMy SoftBankから行うことができます。設定内容について説明しています。

設定

2

ソフトバンク携帯電話から、TVコールを使って映像の確認をすることができます。映像確認時の操作などについて説明しています。

映像の確認

3

本機についての資料や各種情報、索引をまとめています。

資料／付録

4

- 本書では、「SoftBank Z001/Z002」を「本機」と表記しています。
- 本書は、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。設定が変更されていたり、他の機能が動作しているときなどは、動作が異なったり、動作しないことがあります。
- 本書で掲載されているイラストは、実際の形状や字体などと異なる場合があります。また、画面はイメージです。

目次

本書の構成	i
目次	ii
お買い上げ品の確認	iii
安全上のご注意	iv
お願いとご注意	xiii
商標	xvii
本機の比吸収率 (SAR) について	xviii

1 準備／基礎知識

各部の名称	1-2
使用するまでの流れ	1-5
USIMカード	1-6
メモリカード	1-9
電源ON/OFF	1-12
インジケータ／ライト	1-14

2 設定

カメラを設定する	2-2
設定一覧	2-3

3 映像の確認

カメラについて	3-2
カメラ映像を確認する	3-3
静止画で確認する	3-4
動き検知について	3-5

4 資料／付録

故障かな?と思ったら	4-2
仕様	4-3
用語集	4-4
索引	4-5
保証とアフターサービス	4-7
お問い合わせ先一覧	4-8

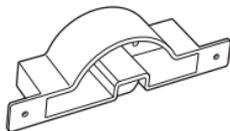
お買い上げ品の確認

SoftBank Z001

●本体



●本体固定用ステー



●ネジ

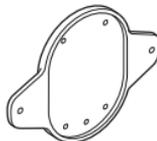
大：2個、小：3個

SoftBank Z002

●本体



●本体固定用ステー



●ネジ

大：2個、小：5個

- ・付属品/その他のオプション品（お買い上げ品に含まれていない別売品）につきましては、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先(4-8ページ)までご連絡ください。
- ・本機は、microSDメモリーカード（以降、メモリーカードと記載）を利用できます。
- ・本体固定用ステー、ネジを使用して、本機を天井/壁などに設置することができます。設置方法につきましては、「本体固定用ステー取扱説明書」をご覧ください。

SoftBank Z001/Z002共通

●ACアダプタ



●取扱説明書（本書）

●取扱説明書（設定編）

●本体固定用ステー取扱説明書

●保証書

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ・ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ・ 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} のみの発生が想定される」内容です。

^{*1} 重傷とは失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。

^{*2} 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。

^{*3} 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止 （してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示 に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した画像データなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してください。

本機、USIMカード、ACアダプタ、メモリカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）



危険



指示

本機に使用するACアダプタは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。指定品以外のもを使用した場合は、ACアダプタの発熱・発火・故障などの原因となります。



分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



水濡れ禁止

濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用・放置しないでください。機器の変形・故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

 **警告**



禁止

本機・ACアダプタを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れてたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。

本機とACアダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、ACアダプタの接続もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

火災・感電・故障などの原因となります。



指示

使用中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. 本機の電源を切ってください。
2. コンセントからACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。



禁止

電源プラグ差込口やUSIMカードスロット、メモリカードスロットに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートの原因による火災や故障などの原因となります。

 **注意**



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障などの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。

使用中においても指示どおりに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

本機の取り扱いについて

⚠ 警告



指示

車載用機器などは、次のことを守り設置、配線をしてください。

- ・ 運転操作やエアバッグなどの安全装置の妨げにならない
- ・ シートベルトの脱着部やドアなどの可動部に挟まない

コード類が足や運転装置にからむと運転の妨げになり、事故の原因となります。また、車載用機器などの落下に驚いて、急ブレーキや急ハンドルの操作により事故の原因となります。



指示

通話などをするときは周囲の安全を確認してください。

安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意ください
電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など



指示

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で本機が使用できる場合は、航空会社の乗務員の指示に従い適切にご使用ください。



指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

⚠ 注意



禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。



指示

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース	PC+ABS樹脂
前面パネル	PC+ABS樹脂
背面カバー	Z001：TPU樹脂 Z002：ABS+TPU樹脂
赤外線スポットライト	アルミニウムガリウム砒素
電源ボタン	ゴム
リセットボタン	ゴム
メモ리카ードスロット (端子部分)	SUS304ステンレス鋼
USIMカードスロット (端子部分)	SUS304ステンレス鋼
電源コネクタ差込口 (端子部分)	SUS304ステンレス鋼



禁止

本機に磁気カードなどを近づけないでください。

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



指示

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

USIMカード、メモ리카ード(オプション品)の取り扱いについて

⚠️ 注意



禁止

メモ리카ードスロットにメモ리카ード以外のものを入れないでください。
発熱・感電・故障の原因となります。
通常は背面のカバーをはめた状態でご使用ください。



指示

USIMカード、メモ리카ードの取り付けや取り外しをするときは、顔などを近づけないでください。また、小さなお子様には触らせないでください。
カードから指を急に離れた際にカードが飛び出して、けがの原因となります。



禁止

メモ리카ードのデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、メモ리카ードを取り出したり、本機の電源を切らないでください。
データ消失・故障の原因となります。



禁止

メモ리카ードは対応品以外のものを使用しないでください。
データ消失・故障の原因となります。記憶容量が2Gバイトまでのメモ리카ードに対応しています。



禁止

USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないでください。
故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。



禁止

USIMカードは指定以外のものを使用しないでください。
指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。

ACアダプタの取り扱いについて

警告



禁止

ACアダプタの接続中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもって火災や故障などの原因となります。



禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V～240V
(家庭用ACコンセント専用)

また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。



電源プラグを抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持ってコンセントからプラグを抜いてください。感電・発煙・火災の原因となります。



指示

プラグにほこりがついたときは、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。火災の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタのプラグや端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。感電・ショート・火災などの原因となります。



水濡れ禁止

濡れた手でACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。感電や故障などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。感電などの原因となります。

注意



電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。感電などの原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



禁止

ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。



禁止

汗をかいた手で触ったり、汗をかいて湿気のもった衣服のポケットなどに入れないでください。

汗や湿気によって内部が腐食し、発熱・故障の原因となることがあります。



禁止

ACアダプタのコードを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないでください。

また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないでください。

コードの破損により感電・発熱・発火の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて



警告

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準拠、ならびに「電波の医用機器などへの影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。
本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室 (ICU)・冠状動脈疾患監視病室 (CCU) には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話などの使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



指示

満員電車などの混雑した場所にいるときは、
本機の電源を切ってください。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる
可能性があります。

電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの
影響を与える場合があります。

ご利用にあたって

- 本機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や映像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 本機はデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。したがって、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
 - ・ 誤った使いかたをしたとき
 - ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - ・ 動作中に電源を切ったとき
 - ・ 故障したり、修理に出したとき
- メモリカードをご使用される場合は、ご使用前にメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
- 本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。
- 譲渡・解約等で本機のご利用をおやめになる場合は、事前にMy SoftBankより本機の設定をリセットしてください。リセットが完了するまでは、設定された情報で本機の機能が動作し、譲受者にて閲覧される可能性があります。リセット方法については取扱説明書（設定編）をご覧ください。

- 海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。

また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。

輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。

- 補聴器をお使いで本機をご使用になる場合、一部の補聴器の動作に干渉することがあります。もし干渉がある場合は補聴器メーカーまたは販売業者までご相談ください。

自動車内でのご使用にあたって

- 本機を置いた自動車で、可燃物、爆発物の保管や運搬を行わないでください。

航空機内でのご使用にあたって

- 本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。機内で本機が使用できる場合は、航空会社の乗務員の指示に従い適切にご使用ください。
- 空港内では、係員の許可なく使用しないでください。

お取り扱いについて

- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本機・ACアダプタなどは防水仕様ではありません。
- 本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
- 本機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- 本機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

- 長時間使用しない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化することがありますのでご注意ください。なお、これらに関して発生した損害につきまして、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 通常は、背面のカバーをはめた状態でご使用ください。カバーをはめずに使用していると、ほこり・水などが内部に入り故障の原因となります。
- 本機の通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まる場合があります。電波感度が弱まると、TVコールの接続などができなくなる場合があります。
- USIMカードを濡らさないでください。また、湿気の多いような場所に置かないでください。故障の原因となります。
- USIMカードを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- USIMカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。
- USIMカードを火のそばや、ストーブのそばなど高温の場所にて使用および放置しないでください。故障の原因となります。

- USIMカードを保管する際、直射日光や高温多湿な場所は避けてください。放置した場合、故障の原因となります。
- USIMカードは乳幼児の手の届かない場所に保管するようにしてください。誤って飲み込んだり、けがの原因となったりする場合があります。
- USIMカードの取り扱いについては、ご使用前にUSIMカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

カメラのご使用について

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
- 撮影が禁止されている場所での撮影はおやめください。

著作権などについて

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切にご利用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものに付きましても、上記と同様の適切にご利用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権などについて

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。
- 本製品により記録・編集された映像が何らかの理由により公となり、または記録・編集目的以外に使用され、その結果被写体となった個人または団体などによるプライバシーまたは肖像権の侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレームなどに関しては、当社は一切の責任を負いません。本製品の設置や利用につきましては、利用されるお客さまの責任で被写体となる方から事前に同意を得るなどしてのプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、適切に行ってください。
- 本製品は、一般家庭向けとして設計・製作されています。高レベルのセキュリティ環境や信頼性を要求される用途での使用は避けてください。このような使用に関する万一の事故に対し、当社は一切の責任を負いません。



microSDロゴは商標です。

ZTE、ZTE中興およびロゴは、ZTE Corporationの中国およびその他の国における商標または登録商標です。

Copyright © 2011 ZTE Corporation. All rights reserved.

みまもりカメラ、TVコール、S!メールはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本機の比吸収率 (SAR) について

この機種Z001/Z002は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) について、これが 2W/kg^* の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の高さに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明 (技術基準適合証明) を受ける必要があります。

このZ001/Z002も財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは 0.867W/kg です。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/>

※ 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) で規定されています。